

【奨励賞】

団体名	和歌山経済同友会
活動の内容（概要）	17年間にわたり、主に中学校や高等学校の授業、教員の研修、PTA団体の会合等に、約200団体の会員企業の中から経営者を講師として派遣している。また、中学生の職場体験活動を広く受け入れて、生徒のキャリア発達を促し、地域を担う人材の育成に取り組んでいる。

受賞理由

- 生徒への授業、教員やPTA団体の研修、地域での学びの場等で、県内の全中学校・高等学校を対象にキャリア教育をサポートする取組を、17年間継続していることを評価する。
- 本会の会員企業200社が、県内の学校の要望に応える組織的で、大規模な取組となっており、地域社会を活性化する機運も高めている。
- 経済同友会が主体となって学校と企業をつなぎ、生の声を大事にした双方向性のあるキャリア教育となっている。
- リーダー育成という側面からも高校生への成長に寄与する指導内容である。また、5日以上という中学生の職場体験活動は、受入の確実性等、支援体制が心強く、学校、地域、家庭の信頼関係が強化された素晴らしい取組である。
- 安定感のある地元経済団体が中核を担っており、事業として見た時に、実践性や継続性など評価基準に照らして高く評価できる。

連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等の機関や団体）】

和歌山県教育委員会、和歌山県内の全中学校・高等学校

【行政や地域・社会、産業界等】

和歌山経済同友会、同会員企業約200団体

活動開始の経緯

【活動開始時期】平成13年～ 【継続年数】17年

本会は、行政、企業、市民が協働することを通じて、よりよい地域社会を実現したいと考えている。その教育分野での具体的な取組として、平成13年度から、会員企業による移動講座「和歌山フォーラム・イン・ビジネス」を開始した。会員企業の経営者からボランティアを募り、県内の学校等に講師として派遣し、生徒や教育関係者等にその経験や知識を伝えていく取組を行っている。

また、平成17年度からの3年間には、県によるキャリア教育実践プロジェクト「キャリア・スタート・ウィーク」に参加し、中学校の職場体験活動を会員企業で受け入れた。このことをきっかけとして、全ての中学校で職場体験活動が行われるようになり、本会でも広く受け入れている。

「協力性」についての具体的な取組、工夫している点など

取組の中心として、本会内に「教育・文化の振興を考える委員会」を設置し、定期的に会員企業との情報交換に努めている。また、県立高等学校の校長会と人材育成の取組について協議する機会を持ち、生徒・保護者のニーズの把握に努めている。

企業経営者の派遣に当たっては事前協議の場を持ち、円滑に生徒を指導・支援できるようにしている。近年、生徒のニーズに応じて、様々な分野の企業経営者を招いての講義やグループ学習を行う学校もあり、1回につき20名の講師を派遣するような取組にも対応してきている。

また、平成17～19年度には、和歌山県が、キャリア教育推進のため、中学生が5日以上職場体験活動を行うようにした事業「キャリア・スタート・ウィーク」に関わり、職場体験活動の受入を会員企業で行った。同事業では、3年間で、のべ131校が職場体験活動を実施している。これにより、地域が一体となって子供たちを育てていこうとする気運が高まり、本活動を話題にした子供と家族との会話を促進することになるとともに、学校、地域、家庭がそれぞれの役割を再認識し、互いの連携の強化を図ることができた。そのため、和歌山県内の全ての中学校において職場体験活動が広く普及する基礎となり、更なる協力体制の構築、連携の広がりへとつながっている。

「継続性」についての具体的な取組、工夫している点など

定期的に県高等学校校長会などと情報交換の機会を持っており、教育現場からの要望や意見に基づいて取組内容を改善し、生徒や保護者にとって、より効果的な取組を目指している。

また、本会の会員企業約200社の経営者がボランティアとして協力することで、県内全域に講師派遣が可能となっており、テーマや目標、実施日時など、学校の要望に応じて企業経営者を派遣できる仕組みにしている。規模については、中学校や高等学校での少人数の授業から、PTA団体等による大規模な会合での講演等まで対応し、学校教育に限らず、地域を担う人材の育成に関する内容にも対応している。

「和歌山フォーラム・イン・ビジネス」の運営経験をもつ管理職・教員も加わることで、生徒にも意義や効果が伝わり、活用が広がってきている。

また、「キャリア・スタート・ウィーク」での、中学生の職場体験活動の受入拡大により、各中学校・各企業に活動の経験が蓄積された。以後、中学校では全校が職場体験活動を実施するに至っている。



<中学校での講演の様子>

「実践性」についての具体的な取組、工夫している点など

本県では、全ての高等学校がキャリア教育に関する全体計画・年間指導計画を作成しており、各学校や地域の特色を生かして、生徒の実態に合わせたキャリア教育を行っている。一方で、本会の会員企業は県内全域の多様な業種にわたっている。

本会事務局においては、それぞれの学校のキャリア教育プログラムや授業テーマに柔軟に対応するとともに、会員企業それぞれの特色や強みを生かせるよう学校と事前協議し、最適な講師を派遣している。

近年では、小グループごとに別のテーマを設定して、講師による講義や協議等を行う高等学校もあり、それぞれのテーマに応じた講師を複数人派遣することができている。1回に20名の講師派遣依頼に対して、その要望に応える大規模な派遣も行っている。



<高等学校における講師派遣の様子>

また、「キャリア・スタート・ウィーク」が、各中学校・各企業において

職場体験活動の実施、運営等の経験となり、以後、中学校での職場体験活動が普及することにつながり、体験活動を伴った効果的なキャリア教育が行われている。

「発展性」についての具体的な取組、工夫している点など

「和歌山フォーラム・イン・ビジネス」では、中学生・高校生への授業だけでなく、教員を対象とした研修会や、PTA 団体と教員等が開く会合、地域の市民大学等、教育関係者や地域の方々がキャリア教育と関わる取組全般に対して講師の派遣を行っている。このことを通じて、学校だけでなく、地域社会に企業経営者の知識と経験を還元するとともに、キャリア教育の取組について地域社会全体で考える機会を広げることができている。

この取組を始めてから17年目となり、中学校・高等学校等へ取組の内容が広く浸透してきた。今後も、企業経営者の経験や考えをより多くの中学生・高校生に伝えることにより、中学校・高等学校でのキャリア教育の充実を支援したい。また、この取組を通じて、企業と教育関係者、地域がより一層連携を深め、協働していくことで、更なる地域の活性化を目指していく。

学校現場の評価・感想・コメント

- ・実社会で活躍されている方の話を聞く機会は本当に貴重で、生徒や保護者は高い関心をもって聞くことができている。
- ・講演を聞くだけでなく、少人数で講師の先生と対話形式で進めることができ、主体的な学習という点からも有効である。
- ・事後学習として、本取組で聞いたことを各クラスに持ち帰り、共有することで、内容を深めることができている。
- ・生徒アンケートにも、「経験に基づいたお話や言葉などが深く印象に残った」というコメントが多く記載されている。

関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

- ・社会には多様な業種、職種があり、それぞれ特色をもった企業が多くあるが、中学生・高校生はあまりそのことを知らない。本取組の移動講座等を通じて企業や仕事の実際の姿に触れることで、生徒たちが仕事の意義や楽しさを知り、生徒自身の将来を考える上で、幅広い視野を持つことができている。
- ・県内の企業や地元企業について知る機会は、ふるさと教育という側面も有しており、地域創生の観点からも大切だと感じている。